

# 施工事例



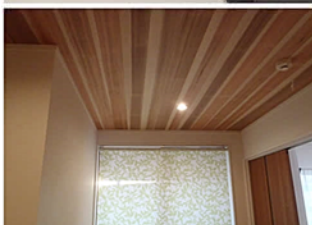
金沢市A様邸

金沢市A様邸をご紹介します。  
シンプルにまとめられたプランですが、水廻りは使い勝手を考慮した回遊性のある間取りとなっています。

約20畳あるLDKのキッチン是对面式。デスクスペースも兼ね備えています。また4.5畳の畳の空間も隣接し、リビングの一部としても使用可能です。広めの洗面脱衣室は直接キッチンとも繋がっています。

天井に杉の柱目を使った2階のホールは、やはり素敵ですね！書斎のある寝室は10畳の他に、3.5畳のウォークインクローゼットも備えています。

トイレは各階にあり、浴室は広めの1.25坪、シューズルームもあり快適に暮らせるポイントが要所に取り入れられています。



A様ありがとうございました！



株式会社アキ ホームページ

(URL) <http://www.k-aki.com>



富山県古民家再生協会

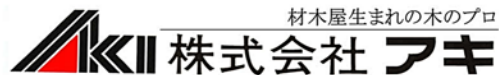
(URL) <http://www.kominka-toyama.org/>



にゃん太郎ブログ

(URL) [http://blog.livedoor.jp/nyantaro\\_since2010/](http://blog.livedoor.jp/nyantaro_since2010/)

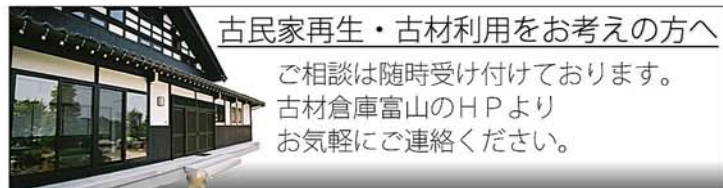
一級建築士事務所登録 富山県知事登録 第(6)861号



材木屋生まれの木のプロ

〒932-0862 小矢部市五郎丸62

(TEL)0766-69-8703 (FAX)0766-69-8653



古民家再生・古材利用をお考えの方へ

ご相談は随時受け付けております。  
古材倉庫富山のHPより  
お気軽にご連絡ください。



1. 施工事例

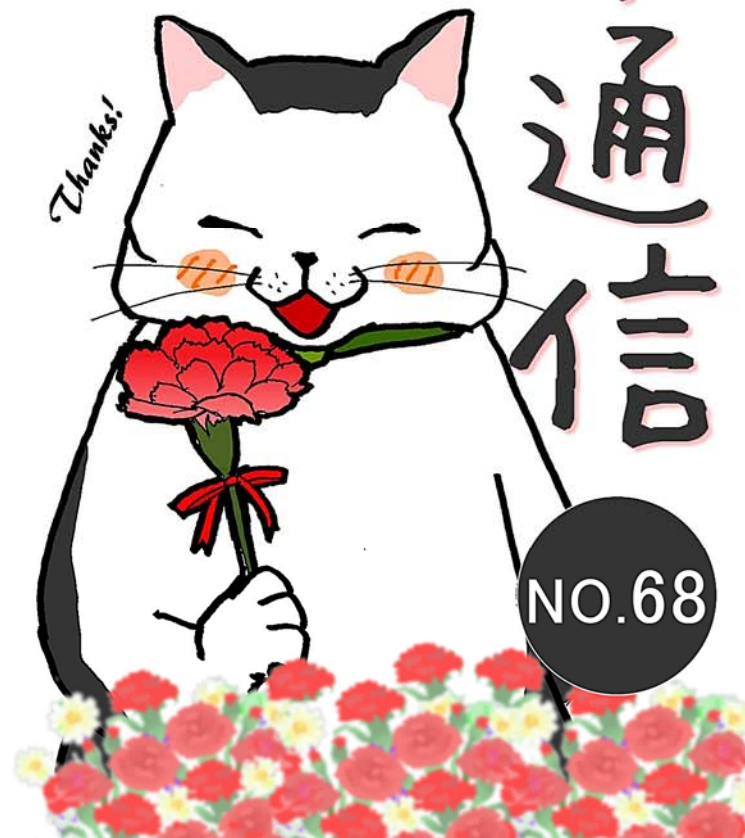
『金沢市A様邸』

2. 加藤社長物語 第六十八話

『省エネ・省CO2化に向けて』

3. 特集

『省エネ化をお考えの方へ①』



NO.68

あっという間のGWでしたね。  
みなさんいかがお過ごしでしたか？  
天気も良かったのでお出かけ日和でしたね。

今回はリフォームをお考えの方に併せて  
ご検討いただきたい制度をご紹介します！

体感ハウス『K'house (ケーズハウス)』に行こう！

◆見所◆

- 1) とやまの木を贅沢に使用
- 2) 『枠の内』の再生
- 3) ソーラーサーキットの住み心地
- 4) 耐震性に優れたケス構法



事前予約でいつでもご案内いたします！ TEL:0766-69-8703

## 【特集】省エネ化をお考えの方へ①

リフォームをするなら、ぜひ一緒に検討してもらいたい省エネ化！そんなリフォームを後押しする支援制度について、それぞれのタイプ別にご紹介します。今回は【高性能県債による住宅の断熱リフォーム支援事業】の概要です。平成30年度より新たに追加された【次世代省エネ建材支援事業】については、次号をお待ちください。

### こんなあなたは『断熱リノベ』

- ☑高効率な省エネ・省CO2を実践したい
- ☑冷暖房が効きにくい気がする
- ☑結露や室内の湿気が気になる



### こんなあなたは『次世代建材』

- ☑光熱費をもっと抑えたい
- ☑性能の高い改修がしたい
- ☑墨ながら短工期で改修したい



#### 利用者の声

暖冷房器具の使用頻度が減りました。それにより光熱費が削減できました。

悩んでいた結露やカビがなくなり、快適に過ごせるようになりました。

二重サッシにすることにより、防音効果も上がりました。

補助金を利用することで、ワンランク上の改修を行うことができました。

※平成26年度 既築住宅・建築物における高性能建材導入促進事業(補正予算に係るもの)を利用された方々のご感想です。

### ◎工事概要

一定の省エネ効果(15%以上)が見込まれる、高性能建材を用いた住宅の断熱リフォーム事業



断熱材



ガラス



窓

戸建住宅のみ



家庭用蓄電池



家庭用蓄熱設備

(電気ヒートポンプ式給湯機)

家庭用設備は、高性能建材での改修を行い、太陽光発電システム等(10kW未満)が設置され、2019年11月末までにFITの契約が終了する方が対象

### ◎補助金額

一戸あたり最大 **120**万円

ただし高性能建材:補助対象費の1/3以内

#### ●家庭用蓄電池

設置費:

3万円/kWhまたは補助対象費用1/3のいずれか低い方

工事費:

1/3以内または5万円/台 いずれか低い方

#### ●家庭用蓄熱設備

材料費・工事費併せて1/3以内または5万円/台 いずれか低い方



加藤社長物語

## 第六十八話

『省エネ・省CO2化に向けて』



3月14日に東京で開催された『ZEH推進協議会会員セミナー』とても勉強になりました。とても良かったので、皆さんに(同業者の皆さんにも是非)お裾分けします。まずは本年度の国の取り組み状況からです。

〈ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス〉いわゆるZEH関連事業で、なんと！経産省、国交省、環境省の三省が連携をして取り組みます！前文にも書いてあります…

『我が国では、エネルギー基本計画(平成26年4月閣議決定)において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEH※の実現を目指す」とする政策目標を設定しており、地球温暖化対策計画(平成28年5月閣議決定)においても同様に政策目標を設定しています。

経済産業省・国土交通省・環境省は連携して、住宅の省エネ・省CO2化に取り組み、ZEHを実現することを目指します。』

ZEH(環境省)、ZEH+(経産省)、LCCM(国交省)、グリーン化(国交省)の支援事業それぞれの違いを分かりやすく説明してあるパンフレットがありますので、是非参考にしてください。

北陸で、日照時間や雪を理由になかなか前に進めなかったZEHに真剣に取り組んでいかなければならないと確信しました。



次回へつづく!

※第一話より読みたい方は㈱アキまで

詳細については(社)環境共創イニシアチブHP【<https://sii.or.jp/>】より公募要領をご確認いただくか、㈱アキまでお問い合わせください。